

3/5(金)→25(木) 料金C 割引初

ボーイ・ミーツ・ガール

1983年/フランス/104分  
監督 脚本レオス・カラックス 撮影ジャン＝イヴ・エスコフィエ  
出演ドニラヴァン/ミレーユ・ベリエ/キャロル・ブルックス

失恋した少年少女の一夜の出会いから思いがけぬラストまでを描く。本作発表時「ゴダールの再来」「フランス映画界の恐るべき子供」と賞されたカラックスの長編初監督作。その後『汚れた血』から『ボヌフの恋人』と続く「アレックス3部作」と呼ばれる全3部作の第1作。



3/5(金)→25(木) 料金C 割引初

汚れた血

1986年/フランス/125分  
監督 脚本レオス・カラックス 撮影ジャン＝イヴ・エスコフィエ  
出演ドニラヴァン/ジャリエット・ビシノ/ミシェル・ピッコリ

愛の無いセックスで感染する奇病「STBO」が蔓延するパリ。天涯孤獨の少年・アレックスは中年男・マルクとある製薬会社が開発した病気の特效薬を盗みだそうと計画する。近未来を舞台にSF系ノワールとメロドラマを絡め独創的な映像世界が展開する。主題歌はデヴィッド・ボウイの「モダン・ラヴ」。



3/12(金)→22(月・祝) 料金C 割引初

恐るべき子供たち

1950年/フランス/105分  
監督 脚本ジャン＝ピエール・メルヴィル 原作 脚本ジャン＝コクトー 出演ニコール・ステファヌ

特別な絆で結ばれたエリザベートとボールの姉弟。やがて二人の「聖域」に入り込んでくる友人たちが関係を複雑にする…。ジャン・コクトーの代表作を映画化。ナレーションは原作者コクトーが担当。1950年代に起こったフランスの映画運動ヌーヴェル・ヴァーグの先駆的作品。



3/17(水)→22(月・祝) 料金特

詩人の血

1930年/フランス/51分  
監督 脚本ジャン＝コクトー 出演リネ・ララン/ボリス・カルトン/エリカ・リベロ

天才詩人コクトーの映画処女作。4話構成で、物語性を持たない夢想的な前衛映画。既成の撮影方法にとらわれない映像表現を追求した20年代からのアヴァンギャルド映画の傑作。「私は、目に見える自分の血と目に見えない血によってこの映画をつくりました。」—ジャン・コクトー—



3/21(日)→28(日) 料金C



死刑執行人もまた死す

1943年/アメリカ/120分  
監督 原案 脚本フリッツ・ラング 出演ブライアン・ドレイヴン/ウォルター・ブレナン/アンナリー

ドイツ占領下のチェコ、プラハ。ナチス司令官暗殺の犯人をかきまうマーシャ。やがてレジスタンスとして活動していく彼女にゲシュタポの影が迫ってくる。ナチスを嫌い、アメリカに亡命したラングが実際に起きた事件をヒントに共同で原案・脚本した反ナチ映画の傑作。



3/24(水)→28(日) 料金C 割引初



条理ある疑いの彼方に

1956年/アメリカ/80分  
監督 フリッツ・ラング 出演ダナ・アンドリュース/ジョン・フォンテイン/ジドニー・ブラクマー

死刑囚の処刑に立ち会ったことから死刑廃止論に興味を持った作家トム。無実の人が死刑に処される危険性を訴えた彼は仲間新聞社社長であるオースティンと組んである実験を行うことに…。驚天動地のどんでん返し待ち受ける、ラングのアメリカ時代の傑作。



3/24(水)→28(日) 料金C 割引初



M  
1931年/ドイツ/99分  
監督 脚本フリッツ・ラング 出演ペーター・ローレ/オットー・ベルニッケ/グスタフ・グリュントペンス

ベルリンに少女を狙った連続殺人が発生警察の捜査はギャングにまで及び、生活が脅かされることを恐れた彼らは、自ら犯人探しに乗り出す。30年当時、映画の主流が移行していたトーキーでしか作れない犯罪映画。数あるラング作品で最高傑作の呼び声高い1作。



3/3(水)→14(日) 料金A 割引初

バグダッド・カフェ

名曲「コーリング・ユー」が(キュー・ディレクターズ・カット版)  
2008年/ドイツ/108分 監督 脚本バーシー・アドロン 出演マリアンネ・ゼーグレヒト/CCH/パウンダー/ジャック・パランス

さびれたモーテルにたどりついたドイツ人旅行者ジャスミン。砂漠のように枯れ果て、気だるいムードが漂う変わり者だらけの場所にやがて小さな奇跡が起こる。監督自らが再編集、色と構図を調整し直し世界中に熱狂的なファンを生み出した不朽の名作が今、スクリーンに甦る。



3/17(水)→22(月・祝) 料金C 割引初

春にして君を想う

アイランドの美しい風景に 佇む天使  
1991年/アイスランド/ドイ・ノルヴェー/85分  
監督 脚本フリッツ・ラング トゥル・フリクソン 出演スリム・ハルドルソン/シゲドルル・ハル・ガリン/ルーク・ハラドソン

家族から疎まれ、老人ホームに入った幼なじみの男女2人が故郷を目指して死地への逃亡を計る。観ているだけで心地よいアイスランドの幻想的な風景の中に人間の孤独と不安、生と死、自然との関わりを綴る。ラストに出演する「ベルリン・天使の詩」のブルーノ・ガンツが印象的。



3/19(金)→22(月・祝) 料金A 割引初

マラドーナ

名匠クストリツワの 豪快対決  
2008年/スペイン/フランス/95分/DV  
監督 脚本エミール・クストリツワ 出演デビッド・ヘンダー

20世紀スポーツ界もっともスキャンダラスなスーパースター「神の子」マラドーナ。カンセで2度のバルムドールを受賞した名匠がその素顔に迫る。奇跡のゴールからコカイン中毒、栄光と挫折を繰り返しアルゼンチン代表監督として6月のW杯に挑む彼の全てがここにあり!



3/26(金)→31(水) 料金C 割引初

浮き雲

春でもアキベ 特選カウリスマキ  
1996年/フィンランド/96分  
監督 脚本 アキ・カウリスマキ 出演カティ・オウティネン/カリ・ヴァーネン/エリナ・サロ

不況のため夫婿を失ったイロナとラウリの夫婦。二人は職探しに励み、あの手この手で精いっぱいがんばるものの…。失業した夫婦が昔節の末、希望を見いだすまでを、簡潔ながら豊かなタッチで描く。カウリスマキ作品にめざらしく、結末はハッピーエンド!



3/26(金)→31(水) 料金C 割引初



ラッチョ・ドローム

どんな辛い時も、音楽があるぞ!  
1993年/フランス/103分  
監督 脚本トニー・ガトリフ 撮影エリック・ギシャール 音楽アララン・ヴェール

[ゴッジョ・ディーロ] [ベンゴ]などのトニー・ガトリフ監督が手掛けた、自らのルーツであるロマをテーマとした「ジプシー3部作」の第1作。インド、ラジャスタンを出発点に、アジア、アラブ、ヨーロッパと8カ国にまたがる放浪の歴史が、激しくも美しい音楽で描かれる。



3/30(火) & 31(水) 料金A

アンナと過ごした4日間

2008年/フランス、ポーランド/94分  
監督 脚本 イェジー・スリマフスキ 絵画の様な映像に 息を呑む秀作  
出演 キンガ・ブレイス/アルトゥル・ステランコ

看護婦アンナへの恋心を察せると、中年男の哀しくも滑稽な姿。その哀しい心理と行為の行く末には? 4大映画祭を制したポーランドの巨匠スリマフスキ、17年振りの最新作は人が人を愛することの困難さ、愛の不確実さを巧みな演出と編集で描いた究極の「片思い」映画。



3/30(火) & 31(水) 料金A

動くな、死ね、甦れ! これも映画史に残る、不滅の傑作。  
1989年/ソビエト/白黒/109分  
監督 脚本 ヴィタリー・カネフスキー 出演 パヴェル・ナザロフ/ディナ・ラドカ・コワ/エレナ・ガボワ

第2次世界大戦直後、ソ連極東の小さな町。少年ワレカを引き起こす悪戯は徐々にエスカレート。そんな彼を助ける「守護天使」ガリーヤ。二人の間の淡い想いは次第に呼応していく。無実の罪で8年間を獄中で暮らしたカネフスキーが自身の少年時代の記憶を映画化した衝撃作。

10 (水)	11 (木)	12 (金)	13 (土)	14 (日)	17 (水)	18 (木)	19 (金)	20 (土)	21 (日)	22 (月)	24 (水)	25 (木)	26 (金)	27 (土)	28 (日)	30 (火)	31 (水)														
バグダッド・カフェ 10:30(～12:25)	恐るべき子供たち 10:30(～12:20)	汚れた血 10:00(～12:10)	ボーイ・ミーツ・ガール 10:00(～11:50)	死刑執行～ 10:00(～12:05)	浮き雲 10:30(～12:10)	アンナと過ごした4日間 10:20(～12:00)	動くな、死ね、甦れ! 10:20(～12:10)	ボーイ・ミーツ・ガール 12:30(～14:25)	バグダッド・カフェ 12:30(～14:25)	汚れた血 14:45(～16:55)	ボーイ・ミーツ・ガール 14:35(～16:25)	汚れた血 16:35(～18:45)	バグダッド・カフェ 18:55(～20:50)	ボーイ・ミーツ・ガール 12:20(～13:10)	春にして君を想う 12:00(～13:30)	恐るべき子供たち 12:15(～14:05)	詩人の血 14:15(～15:10)	マラドーナ 13:45(～15:20)	春にして君を想う 15:20(～16:50)	汚れた血 17:00(～19:10)	ボーイ・ミーツ・ガール 17:30(～18:25)	汚れた血 18:40(～20:50)	ボーイ・ミーツ・ガール 19:20(～21:10)	汚れた血 18:30(～20:40)	浮き雲 14:35(～16:40)	条理ある疑いの彼方に 16:55(～18:20)	ラッチョ・ドローム 16:20(～18:10)	汚れた血 18:30(～20:40)	浮き雲 16:30(～18:10)	アンナと過ごした4日間 18:30(～20:10)	ラッチョ・ドローム 18:30(～20:20)

料金	前売	一般	学生	会員
A	¥1,300	¥1,700	¥1,400	¥1,200
B	—	¥1,300	¥1,000	¥1,000
C	—	—	¥800	—

全曜日割引あり  
 ◎… レディースデー女性¥1,000均一  
 ◎… 会員¥1,000均一  
 ◎… 男女ともに¥1,000均一  
 ◎… 学生¥1,000均一  
 (厚紙) … 18:00以降開始の上映は¥1,000均一  
 作品の上映初日(▽マーク)が平日ならその日は¥1,000均一

表内 ▽=各作品の上映初日  
 ▲=各作品の上映終了予定日  
 ※当館は自由席・定員制です  
 ※客席でのお食事はご遠慮いただいております

〈民営滋賀会館シネマホールの7年間〉  
 振り返れば、長いようであつという間の7年間でした。滋賀会館にあまり余命がないことは最初からわかっていました。むしろ、今のままではいけないのだと思ってきました。だから、色々試行錯誤してきました。結局、会館を中心にした新しい市場は作れませんでした。が、市民団体(シネファン)と企業(RCS)と外郭団体(滋賀県文化振興事業団)という3者協働の枠組みは崩れますが、これはあくまで過渡期的なものです。市民が公共を担うという試み自体はまだこれから本番だと思います。そして、映画上映について一言いうならば、「Dr.バルナサスの鏡」から、今は亡きヒース・レジャーが吐いたセリフでとどめを刺したいと思います。「やり方を変えるか、客層を変えるかです。僕なら両方やりますけど…」もっともこれは詐欺師トニーのセリフでしたが。私たちが、次の機会にみなさまにお会いできるとするならば、この課題をクリアしてからになるでしょう。ぜひまた大津のまちでみなさまにお会いしたいと思います。  
 「存続」でもなく、「再生」でもなく。次の時代につなげる「革新」のみが今必要です。  
 (シネファン 代表 中川 学)